



JLMDILPID022

コード番号 A2N3328,A2N3339,A2N3341,A2N3343,A2N3370,A2N3371
A2N3372,A2N3373,A2N3374,A2N3375,A2N3376,A2N3381

2006年4月1日作成 (第1版)

Baxter

管理医療機器	
承認番号	20400BZY00131000
JMDNコード	70371000

機械器具 74. 医薬品注入器
自然落下式・ポンプ接続兼用輸液セット
(輸血・カテーテル用延長チューブ)

インターリンクI.V.アクセスシステム
(カテーテル延長チューブ)

再使用禁止

【警告】

1. 輸送中、ルアー接続部分が外れかかっていることがあるので、使用前には、必ず接続部分をしっかりと締めること。[しっかりと締まっていない場合、血液や輸液が漏れることがあるため。]
2. チューブを穿刺しないこと。[空気塞栓を引き起こす恐れがあるため。]
3. 中心静脈カテーテル、動脈カテーテルやその他の重要な箇所(偶発的な接続外れを起こした場合、重篤な症状もしくは死亡をまねく箇所)に使用されるラインと接続する場合は、ルアースリップアダプターを使用しないこと。[偶発的な接続外れが起こった場合、失血、空気塞栓などの合併症あるいは重要な治療の中断により、重篤な症状さらには死亡にいたる恐れがあるため。]

【禁忌・禁止】

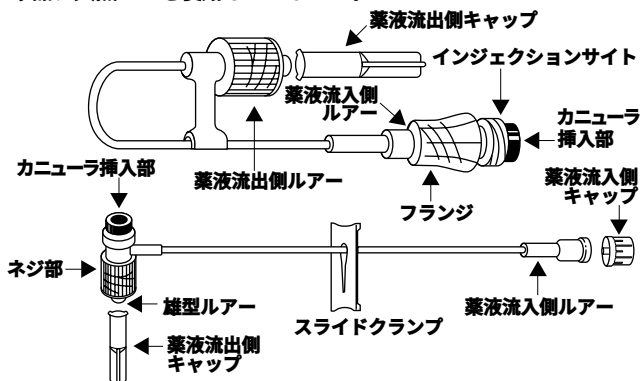
1. 再使用禁止
2. 再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

本品は滅菌済みであり、発熱性物質は含まれていません。

本品は可塑剤：DEHP：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）を含まないポリ塩化ビニル（可塑剤：TOTM、トリメリット酸トリ-2-エチルヘキシル）を使用しております。

本品は天然ゴムを使用していません。



コード番号	タイプ名	プライミング量	全長
A2N3328	1アダプターライン Tコネクタータイプ	0.4mL	15.3cm
A2N3339	1アダプターライン Tコネクタータイプ(ネジ部移動式)	0.61mL	15.3cm
A2N3341	3アダプターラインタイプ	1.1mL	15.2cm
A2N3343	1アダプターライン 1Yサイト付き Tコネクタータイプ	1.0mL	17.8cm
A2N3370	1アダプターラインタイプ (接続部ロックなし)	0.5mL	15.2cm
A2N3371	2アダプターラインタイプ	1.0mL	10.2cm

コード番号	タイプ名	プライミング量	全長
A2N3372	1アダプターライン Jループタイプ(接続部ロックなし)	0.5mL	10.2cm
A2N3373	1アダプターラインJループタイプ	0.5mL	10.2cm
A2N3374	1アダプターラインタイプ	0.5mL	15.2cm
A2N3375	1アダプターラインタイプ (接続部ロックあり、太径チューブ)	0.9mL	12.7cm
A2N3376	2アダプターラインタイプ (太径チューブ)	1.6mL	12.7cm
A2N3381	1アダプターラインタイプ (接続部ロックなし、太径チューブ)	1.1mL	15.2cm

(プライミングの量と全長はおおよその値です。)

【使用目的】

動静脈路への薬液注入及び血液採取

【操作方法又は使用方法等】

＜操作開始に際する注意＞

1. 使用前に包装が開封されていたり、破損がある場合は使用しないでください。
2. 使用前に本品に傷、割れ等使用上障害となるような欠点がないことを確認してください。
3. 無菌的に操作してください。

1. 薬液流入側ルアーの接続と薬液流入側キャップ又は、インジェクションサイトが外れていないことを確認してください。

2. 薬液注入時は、インジェクションサイトを固定させるために、フランジ部分を持って操作してください。

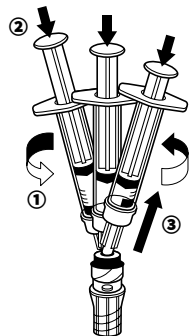
注意：カニューラ挿入部から薬液を注入する場合には、インターリンク カニューラ*を使用してください。インターリンク カニューラ*の使用法は、インターリンク カニューラ*の添付文書をご参照ください。

注意：穿刺前に、カニューラ挿入部のゴム部を、消毒綿等で、消毒し、インターリンク カニューラ*を適切な器具に接続して、カニューラ挿入部の中心部分に挿入してください。消毒方法は、カニューラ挿入部のゴム部分を一方方向に消毒してください。

注意：薬液、血液製剤投与後、又採血後のフラッシュは、フラッシュ効率を上げる為に、下記の手順に従って確実に行ってください(図参照)。

①カニューラの先端を回しながら、②フラッシュ溶液を注入し、③注入を維持したままカニューラを抜いてください。

(確実なフラッシュが行われないと、血液の滞留による感染助長のリスク、薬液の化学反応の影響による薬効への影響、カテーテル閉塞、フィルターの目詰まりの可能性が高まります。)



注意：金属針を用いる必要がある場合は、ゲージの細い針を用い、ゴム部分のスリット部外側に挿入してください。

注意：インターリンク カニューラ^{※1}がインジェクションサイトに接続されている場合は、カニューラと接続している輸液セットやシリンジ、その他の器具等を外さないでください。

- 状況によっては、ロック機能を用いて、他の輸液セットと接続してください。

注意：中心静脈カテーテル、動脈カテーテルやその他の重要な箇所（偶発的な接続外れを起こした場合、重篤な症状もしくは死亡をまねく箇所）に使用されるラインと接続する場合は、ルアースリップアダプターを使用しないでください。

- プライミングの準備をし、本品内の空気を除去してください。

注意：本品内部には、絶対に空気が入らないようにしてください。

- 本品についているスライドクランプは、必要に応じて開閉してください。

注意：本品のスライドクランプを用いて流量を調節しないでください。

- 本品のキャップ等は必要に応じて取り外してください。

- 雄型ルアースリップアダプターを、末梢静脈用留置針に取り付けてください。その際、接続不良を避けるために、雄型ルアースリップアダプターをしっかりと押しながらねじってまわし入れ、接続部分をテープ、もしくはその他適切な方法でしっかりと固定してください。雄型ルアースリップアダプターの場合は、留置針、またはインターリンク カニューラ^{※1}につなぎ、接続不良事故を防ぐために、押しながら時計回しにまわし入れ、しっかりと締めて固定してください。Tコネクターの場合は、ネジ部を引き上げて、Tコネクターの雄型ルアースリップアダプターを出します。Tコネクターインジェクションサイトの延長チューブとの接続部分が右側かつ上方を向き、指の皮膚表面と垂直になるように、Tコネクターを持ってください。Tコネクターを、末梢静脈用留置針のハブと並列にして持ってください。

- Tコネクターを、末梢静脈用留置針のハブに取り付けてください。その際、しっかりと押しながらねじってまわし入れます。指の皮膚表面と平行になるまで、まわし入れてください。

注意：施設のやり方に従って、末梢静脈用留置針のハブとTコネクターにテープを貼って、接続を固定してください。

- 薬液の流量を調節してください。

- ループ部分は取り外すことができます。

<使用方法に関連する使用上の注意>

- 本品のチューブ、または接続部分を引っ張る等、過度の負荷をかけないでください。チューブ接続部分から漏れを生じる恐れや、チューブまたは接続部分が外れる恐れがあります。
- 薬液の逆流を防ぐために、複数の薬液を投与する場合には、必ずチューブのスライドクランプで調節してください。
- 薬剤の配合変化を防ぐために、薬液投与が終了したら、必ず、インジェクションサイト、Tコネクター又はYサイトをフラッシュしてください。

・参考として、CDC（米国疾病管理センター）の血管内留置カテーテル関連感染予防のためのガイドラインに従って、本品を交換してください。

※インターリンク カニューラは、日本ベクトン・ディッキンソン株式会社の製品です。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

医薬品の添付文書を確認後、使用してください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

- 貯蔵・保管方法

直射日光を避け、乾燥した涼しい場所で室温にて保管してください。

- 有効期間

5年間（自己認証による）

【包装】

製品番号	包装単位	
	製品	臨床試用医療機器
A2N3328	50個入	10個入
A2N3339	50個入	10個入
A2N3341	50個入	10個入
A2N3343	50個入	10個入
A2N3370	50個入	10個入
A2N3371	50個入	10個入
A2N3372	50個入	10個入
A2N3373	50個入	10個入
A2N3374	50個入	10個入
A2N3375	50個入	10個入
A2N3376	50個入	10個入
A2N3381	50個入	10個入

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

バクスター株式会社

〒104-6009 東京都中央区晴海一丁目8番10号

連絡先：03(6204)3900（夜間・休日伝言承り電話）

製造業者：バクスターヘルスケア社（シンガポール）

Baxter Healthcare S.A. (Republic of Singapore)

BAXTER 及びインターリンクはバクスター・インターナショナル・インクの登録商標です

製造販売元

バクスター株式会社

東京都中央区晴海一丁目8番10号

JLMDIL-PID022